



Japan Marketing Academy

2013年カンファレンス会長挨拶

日本マーケティング学会の展望

日本マーケティング学会会長
石井淳蔵

 Japan Marketing Academy

日本マーケティング学会のミッション

1. 新しいマーケティング価値の創造
2. マーケティングにおける実践と理論の融合
3. 草の根的なマーケティング研究の展開
4. 拡大するマーケティング概念の受け皿づくり(医療、観光、ソーシャル、…)
5. 他のマーケティングのお手本となるマーケティングの実践

学会の現状

2013年11月10日時点

□ 1450名の会員

- 男女比=8:2
- ビジネス・学者比=7:3

1. 年一度の「カンファレンス」の開催
2. 8つの「リサーチプロジェクト」
3. 東西での「サロン」の開催
4. 「電子ジャーナル」の発行

1 カンファレンス

- 基調講演とパネルディスカッション
- 会員交流の場としての懇親会

- 「オーラルセッション」、「ポスターセッション」の開催
- 表彰制度の新設
 - オーラルセッション・ベストペーパー賞
 - オーラルセッション・ベストドクターコース賞
 - ポスターセッション・ベストポスター賞
- 会員サービス向上に向けた施策
 - 軽食の提供
 - 企業ブースの設置

2 リサーチプロジェクト

- 2013年度は、8つのリサーチプロジェクトが活動中
 - ブランド・コミュニケーション
 - 地域活性化マーケティング
 - 価値共創型マーケティング
 - 医療マーケティング
 - 観光地域マーケティング
 - ソーシャルビジネス
 - クリエイティブ産業とイノベーション
 - 東南アジア・マーケティング
- これまで、18回開催。延べ参加人数281名

3 マーケティングサロン

- ビジネスパーソンを中心として、トピカルなテーマを取り上げた研究 & 懇親会
- 東京で毎月、大阪で年4回開催の体制が確立
- これまで、12回開催。延べ参加人数397名

4 ジャーナル

- 電子ジャーナルとして刊行
- 「マーケティング・ジャーナル」129号(2013年6月発行)より、学会誌への移行完了

5 2013年における新しい活動

- コトラー・カンファレンス2013の共催
 - 企業(ネスレ(株))および日本マーケティング協会との共催

1. 若手リサーチャー支援
2. リサーチ発表媒体の充実
3. リサーチプロジェクトの支援
4. 学会として、社会への発信力の強化

来年度に向けての課題

1 若手リサーチャー支援

- 多様な発表機会を設ける
 - ポスターセッション、オーラルセッション
- 表彰制度を設ける
- ワーキングペーパー制度を新設する
- 論文の英文対応を支援する
 - 「タイトル」、「要約」、「参考文献」の英文化の検討
(J-Stage上での論文公開を契機に)

2 リサーチ発表媒体の充実

- より使いやすいジャーナルへ
 - 過去の全号のPDF化と公開(CiNii、J-Stage)、
全号テキスト化、キーワードづくり、FBの活用、
ケース用索引の作成、等々
- ワーキングペーパー

3 リサーチプロジェクト支援

- リサーチプロジェクトの学会支援
- 外部の研究組織とのコラボレーション方法の検討
- 「拡大するマーケティング概念」の受け皿となる戦略的プロジェクトへの支援
 - 「医療マーケティング研究会」と「ソーシャル・ビジネス研究会」メンバー構成について

One for all, All for one

学会のさらなる発展に向けて、
ご尽力のほど、
よろしくお願いいたします

 Japan Marketing Academy